

審査意見への対応を記載した書類（6月）（資料）

目次

- 【資料 1】 令和健康科学大学大学院 健康科学研究科 DP・CP・教育課程の対応表（看護学分野）
- 【資料 2】 令和健康科学大学大学院 健康科学研究科 DP・CP・教育課程の対応表
（リハビリテーション学分野）
- 【資料 3】 令和健康科学大学大学院 健康科学研究科の3つのポリシー関連表（看護学分野）
- 【資料 4】 令和健康科学大学大学院 健康科学研究科の3つのポリシー関連表
（リハビリテーション学分野）
- 【資料 5】 教員採用計画（略）

【資料1】

令和健康科学大学大学院 健康科学研究科 DP・CP・教育課程の対応表（看護学分野）

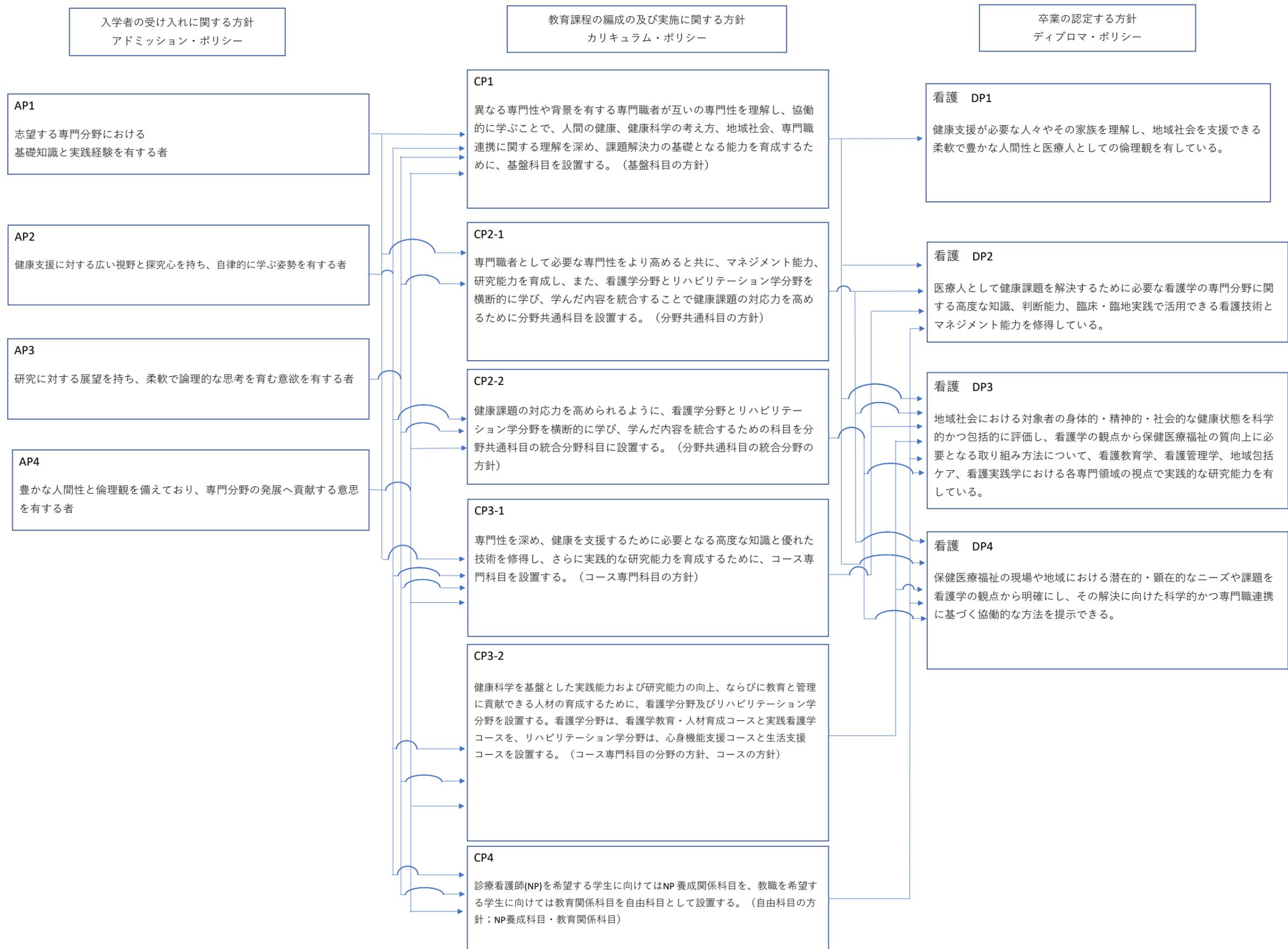
| | CP1 | CP2-1 | CP2-2 | CP3-1 | CP3-2 | CP4 |
|-------------------|---|---|---|---|--|---|
| | 異なる専門性や背景を有する専門職者が互いの専門性を理解し、協働的に学ぶことで、人間の健康、健康科学の考え方、地域社会、専門職連携に関する理解を深め、課題解決力の基礎となる能力を育成するために、基盤科目を設置する。（基盤科目の方針） | 専門職者として必要な専門性を高めると共に、マネジメント能力、研究能力を育成し、また、看護学分野とリハビリテーション学分野を横断的に学び、学んだ内容を統合することで健康課題の対応力を高めるために分野共通科目を設置する。（分野共通科目の方針） | 健康課題の対応力を高められるように、看護学分野とリハビリテーション学分野を横断的に学び、学んだ内容を統合するための科目を分野共通科目の統合分野科目に設置する。（分野共通科目の統合分野の方針） | 専門性を深め、健康を支援するために必要となる高度な知識と優れた技術を修得し、さらに実践的な研究能力を育成するために、コース専門科目を設置する。（コース専門科目の方針） | 健康科学を基盤とした実践能力および研究能力の向上、ならびに教育と管理に貢献できる人材の育成するために、看護学分野及びリハビリテーション学分野を設置する。看護学分野は、看護学教育・人材育成コースと実践看護学コースを、リハビリテーション学分野は、心身機能支援コースと生活支援コースを設置する。（コース専門科目の分野の方針、コースの方針） | 診療看護師(NP)を希望する学生に向けてはNP養成関係科目を、教職を希望する学生に向けては教育関係科目を自由科目として設置する。（自由科目の方針；NP養成科目・教育関係科目） |
| 看護 D P 1 | 健康支援が必要な人々やその家族を理解し、地域社会を支援できる柔軟で豊かな人間性と医療人としての倫理観を有している。 | 健康への理解 地域社会に関する 幅広い視点、倫理観 「健康科学特論」 「健康科学研究方法特論」 「専門職連携特論」 「保健医療倫理特論」 「保健医療福祉システム特論」 「生体情報科学特論」 「臨床免疫学特論」 「保健医療福祉とリハビリテーション」 | 健康への理解 地域社会に関する 幅広い視点、倫理観 「看護研究方法論」 | 「専門職連携演習」 | 「看護教育学特論」「看護教育学演習」 「看護学特別研究（看護管理学領域）」「看護学特別研究（看護教育学領域）」 「看護学特別研究（地域包括ケア領域）」 「看護学特別研究（実践看護学）」 | 「教育方法論」 |
| 看護 D P 2 | 医療人として健康課題を解決するために必要な看護学の専門分野に関する高度な知識、判断能力、臨床・臨床実践で活用できる看護技術とマネジメント能力を修得している。 | 各領域の共通基盤 マネジメント能力の基礎 高度な専門的能力の素地 「健康科学研究方法特論」 「専門職連携特論」 「保健医療倫理特論」 「保健医療管理学特論」 「臨床免疫学特論」 「保健医療統計学特論」 「保健医療社会学特論」 「英語文献講読」 | 看護学の基盤となる幅広い知識 マネジメント能力に関する科目が対応 【看護学分野】 「看護実践理論特論」 「看護政策論」 「看護教育学」 | 学際的な知識健康課題の 対応力に関する科目が対応 「コンサルテーション特論」 「ヘルスプロモーション論」 「医療安全学特論」 「専門職連携演習」 + 「リハビリテーション分野の科目」 (2単位まで修了要件に参入可能) | 健康課題を解決するために必要な看護教育学、看護管理学、地域包括ケアに関する 高度な知識と優れた技術 【看護学教育・人材育成コース】 「看護管理学特論」「看護管理学演習」「看護教育学特論」「看護教育学演習」「精神看護学特論」「精神看護学演習」「地域・在宅看護学特論」「地域・在宅看護学演習」 | 「教育原論」 「教育方法論」 |
| 看護 D P 3 | 地域社会における対象者の身体的・精神的・社会的な健康状態を科学的かつ包括的に評価し、看護学の観点から保健医療福祉の質向上に必要な取り組み方法について、看護教育学、看護管理学、地域包括ケア、看護実践学における各専門領域の視点で、考案・開発する実践的な研究能力を有している。 | 科学的視点、包括的視点 健康に関する幅広い視点 実践的な研究能力の素地 「健康科学特論」 「健康科学研究方法特論」 「保健医療福祉システム特論」 「生体情報科学特論」 「臨床免疫学特論」 「保健医療統計学特論」 「保健医療福祉とリハビリテーション」 「英語文献講読」 | 看護学の基盤となる幅広い知識 に関する科目が対応 【看護学分野】 「看護研究方法論」 | 複合的な健康課題を考察し、課題を解決するための 看護教育学、看護管理学、地域包括ケアにおける実践的な研究能力 【看護学教育・人材育成コース】 「看護教育学特論」「看護教育学演習」 「看護学特別研究（看護管理学領域）」「看護学特別研究（看護教育学領域）」 「看護学特別研究（地域包括ケア領域）」 | 健康課題を解決するために必要な実践看護学に関する高度な知識と優れた技術 【実践看護学コース】 「高度実践看護特論」「臨床推論」「病態生理学特論」「疾病特論」 「フィジカルアセスメント演習」 | 「教育原論」「教育方法論」 |
| 看護 D P 4 | 保健医療福祉の現場や地域における潜在的・顕在的なニーズや課題を看護学の観点から明確にし、その解決に向けた科学的かつ専門職連携に基づいた協働的な方法を提示できる。 | 科学的視点 地域社会に関する幅広い視点 他の専門職の理解・協働 「専門職連携特論」 「保健医療管理学特論」 「保健医療福祉システム特論」 「生体情報科学特論」 「保健医療福祉とリハビリテーション」 | 看護専門職に関する 理解・協働 「コンサルテーション特論」 「ヘルスプロモーション論」 「医療安全学特論」 「専門職連携演習」 + 「リハビリテーション分野の科目」 (2単位まで修了要件に参入可能) | 学んだ知識・技術を統合し看護教育学、看護管理学、地域包括ケアの観点から 複合的な健康課題の解決能力へと展開 【看護学教育・人材育成コース】 「看護管理学特論」「看護管理学演習」 「看護学特別研究（看護管理学領域）」「看護学特別研究（看護教育学領域）」 「看護学特別研究（地域包括ケア領域）」 | 学んだ知識・技術を統合し看護実践学の観点から複合的な健康課題の解決能力へと展開 【実践看護学コース】 「看護学特別研究（実践看護学）」 | 「教育原論」 |

令和健康科学大学大学院 健康科学研究科 DP・CP・教育課程の対応表（リハビリテーション学分野）

| | CP1 | CP2-1 | CP2-2 | CP3-1 | CP3-2 | CP4 |
|-----------------------|---|---|---|--|--|---|
| | 異なる専門性や背景を有する専門職者が互いの専門性を理解し、協働的に学ぶことで、人間の健康、健康科学の考え方、地域社会、専門職連携に関する理解を深め、課題解決の基礎となる能力を育成するために、基盤科目を設置する。（基盤科目の方針） | 専門職者として必要な専門性をより高めると共に、マネジメント能力、研究能力を育成し、また、看護学分野とリハビリテーション学分野を横断的に学び、学んだ内容を統合することで健康課題の対応力を高めるために分野共通科目を設置する。（分野共通科目の方針） | 健康課題の対応力を高められるように、看護学分野とリハビリテーション学分野を横断的に学び、学んだ内容を統合するための科目を分野共通科目の統合分野科目に設置する。（分野共通科目の統合分野の方針） | 専門性を深め、健康を支援するために必要となる高度な知識と優れた技術を修得し、さらに実践的な研究能力を育成するために、コース専門科目を設置する。（コース専門科目の方針） | 健康科学を基盤とした実践能力および研究能力の向上、ならびに教育と管理に貢献できる人材の育成するために、看護学分野及びリハビリテーション学分野を設置する。看護学分野は、看護学教育・人材育成コースと実践看護学コースを、リハビリテーション学分野は、心身機能支援コースと生活支援コースを設置する。（コース専門科目の分野の方針、コースの方針） | 診療看護師(NP)を希望する学生に向けてはNP養成関係科目を、教職を希望する学生に向けては教育関係科目を自由科目として設置する。（自由科目の方針；NP養成科目・教育関係科目） |
| 領域ごとの ディプロマ・ポリシー | | | | | | |
| リ ハ D P 1 | 健康支援が必要な人々やその家族を理解し、地域社会を支援できる柔軟で豊かな人間性と医療人としての倫理観を有している。 | 健康への理解 地域社会に関する 幅広い視点、倫理観 「健康科学特論」 「健康科学研究方法特論」 「専門職連携特論」 「保健医療倫理学特論」 「保健医療福祉システム特論」 「生体情報科学特論」 「臨床免疫学特論」 「保健医療福祉とリハビリテーション」 | 「リハビリテーション研究方法論」 | 「リハビリテーション学特別研究（心身機能支援）」「リハビリテーション学特別研究（生活支援）」 | 「教育方法論」 | |
| リ ハ D P 2 | 医療人として健康課題を解決するために必要なリハビリテーション学の専門分野に関する高度な知識、判断能力、臨床・臨床実践で活用できるリハビリテーション技術とマネジメント能力を修得している。 | 各領域の共通基盤 マネジメント能力の基礎 高度な専門的能力の素地 「健康科学研究方法特論」 「専門職連携特論」 「保健医療倫理学特論」 「保健医療管理特論」 「臨床免疫学特論」 「保健医療統計学特論」 「保健医療社会学特論」 「英語文献講読」 | リハビリテーション学の基盤となる 幅広い知識 マネジメント能力に関する科目が対応 【リハビリテーション学分野】 「リハビリテーション管理学特論」 「心身機能計測技術論」 「福祉住環境特論」 | 学際的な知識健康課題の 対応力に関する科目が対応 「コンサルテーション特論」 「ヘルスポモーション論」 「医療安全学特論」 「専門職連携演習」 + 「看護学分野の科目」 (2単位まで修了要件に参入可能) | 健康課題を解決するために必要な心身機能支援に関する高度な知識と優れた技術 【心身機能支援コース】 「運動機能支援特論」「運動機能支援演習」 「脳機能支援特論」 「脳機能支援演習」 「摂食嚥下機能支援特論」 「摂食嚥下機能支援演習」 健康課題を解決するために必要な生活支援に関する高度な知識と優れた技術 【生活支援コース】 「生活機能支援特論」 「生活機能支援演習」 「生活環境支援特論」 「生活環境支援演習」 「福祉工学支援特論」 「福祉工学支援演習」 | 「教育原論」「教育方法論」 |
| リ ハ D P 3 | 地域社会における対象者の身体的・精神的・社会的な健康状態を科学的かつ包括的に評価し、リハビリテーション学の観点から、保健医療福祉の向上に必要となる取り組み方法について、心身機能支援、生活支援における各専門領域の視点で、考案・開発する実践的な研究能力を有している。 | 科学的視点、包括的視点 健康に関する幅広い視点 実践的な研究能力の素地 「健康科学特論」 「健康科学研究方法特論」 「保健医療福祉システム特論」 「生体情報科学特論」 「臨床免疫学特論」 「保健医療統計学特論」 「保健医療福祉とリハビリテーション」 「英語文献講読」 | リハビリテーション学の基盤となる 幅広い知識に関する科目が対応 【リハビリテーション学分野】 「リハビリテーション研究方法論」 | 複合的な健康課題を考察し、課題を解決するための心身機能支援に関する実践的な研究能力 【心身機能支援コース】 「リハビリテーション学特別研究（心身機能支援）」 複合的な健康課題を考察し、課題を解決するための生活支援に関する実践的な研究能力 【生活支援コース】 「リハビリテーション学特別研究（生活支援）」 | 「教育原論」「教育方法論」 | |
| リ ハ D P 4 | 保健医療福祉の現場や地域における潜在的・顕在的なニーズや課題をリハビリテーション学の観点から明確にし、その解決に向けた科学的かつ専門職連携に基づく協働的な方法を提示できる。 | 科学的視点 地域社会に関する幅広い視点 他の専門職の理解・協働 「専門職連携特論」 「保健医療管理特論」 「保健医療福祉システム特論」 「生体情報科学特論」 「保健医療福祉とリハビリテーション」 | リハビリテーション専門職に関する 理解・協働 「コンサルテーション特論」 「ヘルスポモーション論」 「医療安全学特論」 「専門職連携演習」 + 「看護学分野の科目」 (2単位まで修了要件に参入可能) | 学んだ知識・技術を統合し心身機能支援に関する観点から複合的な健康課題の解決能力へと展開 【心身機能支援コース】 「リハビリテーション学特別研究（心身機能支援）」 学んだ知識・技術を統合し生活支援に関する観点から複合的な健康課題の解決能力へと展開 【生活支援コース】 「リハビリテーション学特別研究（生活支援）」 | 「教育原論」 | |

【資料3】

令和健康科学大学大学院 健康科学研究科の3つのポリシー関連表(看護学分野)



【資料4】

令和健康科学大学大学院 健康科学研究科の3つのポリシー相関表(リハビリテーション学分野)

